

「岸和田市子ども・子育て支援事業計画」の取組み状況について

事業名	比較項目		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
乳児家庭全戸訪問事業	計画値	量の見込み(人)	1,453	1,428	1,430	1,531	1,499
	実績値	実施量(人)	1,401	1,336	1,239	1,018	1,201
養育支援訪問事業	計画値	量の見込み(人)	77	76	76	61	59
	実績値	実施量(人)	59	35	8	4	0
妊婦健康診査	計画値	量の見込み(人)	1,453	1,428	1,430	1,531	1,499
		一人当たり受診回数(回)	14	14	14	14	14
		受診延べ回数(回)	20,342	19,992	20,020	21,434	20,986
	実績値	実施量(人)	1,461	1,453	1,452	1,345	1,272
		一人当たり受診回数(回)	12.9	11.6	10.9	12.2	12.5
		受診延べ回数(回)	18,839	16,866	15,768	16,438	15,907

※計画値(量の見込み)については、中間年の見直しによる値を記載している

1. 乳児家庭全戸訪問事業(こんにちは赤ちゃん訪問事業)

あかちゃんやその家族が安心して過ごせるよう、生後2か月頃の赤ちゃんがいるすべてのご家庭を訪問し、家庭での様子やご家族の話をお聞きし、育児情報をお届けしています。原則、民生委員児童委員が訪問しますが、不在の場合は、後日、健康推進課の職員(保健師、助産師、保育士など)が訪問しています。

計画値と実績値との乖離については、計画値は中間年の見直しによる数値を元データとしており、実数としては、急速な少子化の流れの中、出生数が減少していること、またコロナ禍において出産を控える方が増加したこと等の理由により生じたものです。

2. 養育支援訪問事業

本事業は、子育てに対して不安や孤立感等を抱える家庭や、様々な原因で養育支援が必要となっている家庭に対して、子育て経験者等による育児・家事の援助または保健師・助産師等による具体的な養育に関する指導助言等を訪問により実施するものです。

その支援内容は、「安定した妊娠・出産・育児を迎えるための相談・支援」「育児不安の解消や養育技術の提供等のための相談・支援」「養育環境の維持・改善や子の発達保障等のための相談・支援」などを基本としており、その取組みは、中核機関において立案された目標、内容、方法、スケジュール等に基づき、特に専門的相談支援に関しては保健師、助産師、看護師等の専門職が実施することが望ましいとされています。

令和元年以降実績が減少していますが、これは平成29年の母子保健法の改正により、令和元年度から設置した子育て支援包括支援センター事業における業務量の増加によって、本専従できる専門職が不足しているため、通常の保健業務の中で対応しており、養育支援事業としてカウントできないことが原因です。

3. 妊婦健康診査

国が定める「妊婦に対する健康診査についての望ましい基準」に従って、出産までに14回の妊婦健康診査の実施に要する費用の一部を助成しています。

計画値との間に差が生じるのは、乳児家庭全戸訪問事業と同様、計画値は中間年の見直しによる数値を元データとしているため、1人あたりの受診回数で見ると、ほぼ計画通りであると考えます。